

中  
2022

国

語

始める前に左の注意事項を読みなさい。

- 始めの合図があるまで開いてはいけません。
- 問題は全部で18ページあります。
- 答えはすべて解答用紙に書きなさい。
- 問題冊子、解答用紙のいずれにも受験番号、氏名を書きなさい。
- 質問のあるときは静かに手をあげ先生の指示を待ちなさい。
- 終わりの合図があったら、ただちに筆記用具を置きなさい。
- 問題冊子を持ち帰ってはいけません。

(第1回)

受験番号	
氏	名
	ふりがな



□ ① 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

本文は、十年前の二〇一二年、中学生向けに行われた外山滋比古氏の授業を編集した内容です。現代と相違する部分があります。

人間がコンピューターに勝つためにはどうしたらよいか。

その方法は「考える」こと。コンピューターは「記憶する」ことにかけては敵なしたが、「考える」ことを知らない。よく、プロの棋士と碁を打ってコンピューターが勝ったなんていうニュースを耳にする。コンピューターが考えているわけじゃない。知識として大量のデータを記憶しているのである。

① 本当の意味で「考える」ということは、日本人だけでなく、現代を生きる人間にとっても極めて難しい。なぜなら、われわれは「知識」をもっているからだ。

知識がある程度まで増えると、自分の頭で考えるまでもなくなる。知識を利用して、問題を処理できるようにする。② 借り物の知識でなんとか問題を解決してしまう。

もちろん知識は必要である。何も知らなければただの無為で終わってしまう。ただ、知識は多ければ多いほどいいと喜ぶのがいけない。良い知識を適量、しっかりと頭の中に入れて、それを基にしながら自分の頭でひとが考えないことを考える力を身につける。

「③」である。ふり廻まわされなないためには、よけいな知識はほどよく忘れなければならない。しかし、この「忘れる」ことが意外に難しい。

学校の生徒で、勉強において「忘れてもいい」と言われたことはあるだろうか？ もちろん、今の学校教育ではそんなことは言わない。ともすれば「忘れてはいけない」と教え込む。すくなくとも、「どうしたらうまく忘れ

るか」などという学校はないはずだ。

しかし実は、「覚える」と同じくらいに、「忘れる」ことが大事で、しかも難しい。この（A）ことによつて、人間がコンピューターに勝っているのである。コンピューターは（B）のが得意な反面、（C）のほたいへん苦手。人間のように、うまく忘れるということができない。

そもそも未知なものに対しては、借り物の知識などでは役に立たないのが当たり前だ。それまでの知識から外れた、わけのわからないモノゴトを処理、解決するには、ありきたりの知識では役に立たない。いったん捨てて、新しい考えをしぼり出す力が必要となる。そういう思考力を身につけられれば、コンピューターがどんなに発達しようと、<sup>④</sup>人間が存在価値を見失うことはないだろう。

人間はずっと「忘れる」ということをおそれてきた。とにかく忘れてはいけないと思ひ込んでいた。急に「忘れよ」などと言われたらひどくとまどう。たいていの人は、<sup>⑤</sup>（a）は上手でも（b）は下手である。

なにもそれほど難しく考える必要はない。自然に忘れる。一番簡単なのは「夜よく眠る」ことである。

前の晩に、頭に知識を一〇〇入れて寝たとする。朝になって、その知識がそのまま残っていてほしいと願う人があるかもしれないけれど、そんなことがあつては大変。頭が壊れてしまう。正常な頭なら、前夜の知識はガタ減りに少なくなっている。なぜか？ 睡眠中に忘却ぼつやくをすすめる働きがはたらくからである。この忘却の時間はレム睡眠と呼ばれる。人によつて回数に違いがあるが、ひと晩に数回おこる。

起きている間の人間の頭の中へは、いわゆる知識以外にも、雑多な刺激が常に入り込んでくる。そのようにして流れ込んできたもので不要だと思われるものを、レム睡眠の時にはねのけているのだ。

人間の頭は、自分にとって「どうも大事なものらしいぞ」というものは自動的に忘れないようにできている。

当面は頭の中のないほうがいいと思ったモノを、レム睡眠は整理する。朝、目を覚ました時、たいていの人がなんとなく清々しい気分になっている。レム睡眠のおかげで頭の中の掃除が行われた後だから、頭の中のゴミ出しが済んだ後だからである。

この⑥自然忘却作用は本当に大事にしなければならぬ。夜よく眠れない人は、大至急、眠れるようにしないと頭が悪くなってしまう。昼、詰め込むよりも、夜、不要なものをすてるほうが大事である。心身の健康のためにも忘却作用を大切にしたい。

けれど、勉強しすぎて知識をたくさんとり入れると、一日一回の睡眠だけでは足りない。ゴミがいっぱい溜まる。レム睡眠でゴミ出しをしてもなお、有害なゴミが頭の中に残る恐れがある。そんな場合、どうしても目が覚めている間に、よけいなことを忘れる努力をしなくてはならなくなる。有害なものは、なんとしても忘れないといけない。

そうかと言って、一日じゅう寝ているわけにはいかない。では、起きている間はどうしたらいいか、これはなかなか工夫が必要である。

その点、学校はうまいことをしてきた。それは、異なる授業を立て続けにやるということ。英語の次に国語、その次は社会、音楽。一見、(⑦)のようだけれど、実はこれは非常に理にかなっていたのだ。なぜなら、前の授業で詰め込まれた知識を、まったく異なる次の授業によって、レム睡眠と同じほどではないが、忘れることができるからだ。

ところが三〇年ほど前、こういう時間割に批判的な教師があらわれた。違った教科をつづけて教えるは記憶効率が下がると考え、同じ内容を一括して教えれば学習率が上がるとした。そして、「午前中はすべて英語」「午後はずべて理科」というように、休みもなくぶっ続けに授業を行うことにした。

結果はどうなったか？

⑧

それは忘れることの必要を忘れた、からだ。

異なる授業をやることだけでなく、授業と授業の間の休み時間もたいへん大事だったのだ。

休みに教室に残ってノートなんか整理したりする生徒がいると「（⑨）だね」などと言う人がいるが、トンデモない。休み時間とはかく外に飛び出して、思い切り体を動かして汗をかくくらいにする。そうすれば、教室に戻ってきた時には、「さっきの時間は何だったっけ？」となる。それこそが理想的な頭の状態。その後の授業の間は集中できる。

いろんなことをして忙しくしなければダメ。同じことをだらだらと続けていても、頭はよく働かない。頭がさぼってしまったって学習効果もあがらない。とにかく忙しくすること！ 適当に忘れて頭をスッキリさせる。覚えて、忘れる、<sup>⑩</sup>この切り替えがたいへんに重要なのである。

勉強したら必ず体育をやらないとダメ。じつと机の前に座っていても、頭の中は切り替わらない。忘却作用も進まない。必ずグラウンドへ出てひと汗かく。ただこのひと汗の後が大事である。

残念ながら、全国大会でも名を連ねるような強豪校の運動部で行われているスポーツのやり方は、いささか間違っているように思われる。猛練習もうをするのは結構だが、練習の済んだ後がいけない。<sup>⑪</sup>汗を流した後をどうするかを知らない。

これを私はバツタスポーツと呼んでいる。バツタには脳がない。その代わり自分の身長は何倍も跳ぶことができる。人間に当てはめると、何メートルは跳ばないとバツタにはかなわないことになる。それでもわれわれ人間がバツタにひけをとらないのは、バツタにはできない、ウォーミングアップ、クーリングダウンをし、忘却、記憶、思考ということが出来るからである。ただ一センチでも高く跳べばよいと、記録を伸ばすことだけを目指

すのであれば、バッタのジャンプにかなわない。人間はもつと価値のあるスポーツを行うことができる。

放課後遅くまで運動するのも結構だが、今のスポーツの指導者たちは、その後の配慮はいりよが足りていない。スポーツで汗を流した後の頭というのは、眠りから覚めた時よりさらにいい状態にある。これをむぎむぎ潰してしまつてはもつたない。運動をしたら汗をぬぐって着替えをして、なるべく早く勉強にとりかかる。長くする必要はない。三〇分もすれば充分。運動するとお腹が空くため、たいていの人はそこでものを食べてしまう。運動をやっているとどうも学校の成績がうまく上がらない、と言う人がいるが、それは直後にものを口にしているからである。

運動は勉強よりはるかに集中力を要する。「<sup>⑫</sup>」運動をすると集中力が高まるのである。集中して勉強すれば、普段の何倍ものことができる。その勉強が済んだら存分に食べていい、寝てもいい。

机にへばりついている状態を、昔の人は「かまぼこ」と呼んだ。板にくっついているといふので、実にうまいことを言ったものだ。机に向かって勉強するのが一番いい、スポーツは勉強と両立しないと思つている人が多いが、<sup>⑬</sup>時代遅れだと言つてよい。

勉強は体を動かすことと組み合わせないといけない。本や参考書を相手の勉強だけでは不十分。体をうごかして集中力を高める必要がある。これをスポーツは養つてくれる。

世間では、スポーツも学業の成績もいいのを「文武両道だ」なんて言つてもてはやす。しかし、文武両道は当たり前。文武両道でなければダメなのである。片方だけでは人間としての価値が小さい。運動と勉強を両立させてこそ人間力を高められるのである。

そういうことを頭において、いかにして運動と勉強を自分の生活の中で調和させるか。これは若い人たちにとつて、最大の課題だと思つてよい。それをしっかりやり遂とげることができたら、おそらく過去の時代に生きた偉大な先人たちにも負けなくらいの人間になれるだろう。

問一 — 部①「本当の意味で『考える』とありますが、筆者はどう考えることだと言っていますか。もつともふさわしいものを次から選び記号で答えなさい。

ア 大量のデータを利用できる手立てを知り、さまざまな視点から考えること。

イ 知識を常に増やし続け、必要に応じて使いこなせるよう考えること。

ウ よけいな知識を増やさないように意識し、重要なことだけ考えること。

エ 良い知識を蓄えたいうえで、他人が考えないことを自分で考えること。

問二 — 部②筆者は「借り物の知識」ではなく、何を大切にすべきと考えていますか。本文中から三字で抜き出し答えなさい。

問三 空らん③⑫にあてはまる適切な語を記号で選び答えなさい。

ア として      イ つまり      ウ ところが      エ さらに      オ たとえば

問四 空らん（A）（B）（C）にあてはまる語として適当なものを次から選び記号で答えなさい。記号は複数回使用してかまわない。

ア 忘れる      イ 覚える



問五

——線部④「人間が存在価値を見失うことはないだろう」とあるがなぜか。もつともふさわしいものを次から選び記号で答えなさい。

- ア コンピューターがどれほど発展し、膨大な記憶を持つとしても、未来を見通すことはできず、人間の経験が重要になると筆者は考えているから。
- イ 何が起きるのか予測できない時代の中で、知識の組み合わせだけで対応することはできず、人間の創造性が解決の糸口になると筆者は考えているから。
- ウ コンピューターを人間が作っている以上、コンピューターは人間がコントロールするものであり、比べる必要もないと筆者は考えているから。
- エ 不安定な社会状況の中では、直接人間同士が関わりあい、助け合うことが最も重要でありコンピューターにはできないことだと筆者は考えているから。

問六 — 部⑤「(a) ( )は上手でも (b) ( )は下手である」の空欄にあてはまる適切な語の組み合わせ

わせを次から選び記号で答えなさい。

ア a レム睡眠 b 安眠

イ a 整理 b 掃除

ウ a 遊び b 休憩

エ a 覚え方 b 忘れ方

問七 — 部⑥「自然忘却作用」とは何か。もつともふさわしいものを次から選び記号で答えなさい。

ア 夜よく眠ることによって、自動的に大事な記憶以外を忘れられる作用

イ 睡眠中にレム睡眠が起こり、その繰り返しによって記憶の定着を促す作用

ウ 忘れてはいけない内容を日中に意識して定着させ、不必要な記憶を捨てる作用

エ 徐々に古い記憶は思い出せなくなり、知識量が減少してゆく作用

問八 空らん⑦にあてはまる適切な四字熟語を次から選び記号で答えなさい。

- ア 創意工夫
- イ 独立独歩
- ウ 支離滅裂
- エ 一石二鳥

問九 空らん⑧にあてはまるもつともふさわしい一文を選び記号で答えなさい。

- ア 期待以上に学力は上がったのである。
- イ 驚くほど学力は変わらなかったのである。
- ウ 思いもかけず学力が急落してしまったのである。
- エ 満足がゆくまで伸び続けたのである。

問十 空らん⑨にもつともふさわしい語を選び記号で答えなさい。

- ア 感謝
- イ 同感
- ウ 感心
- エ 直感

問十一 — 部⑩ 「この切り替えがたいへんに重要なのである」がそれはなぜか。もっともふさわしいものを次から選び記号で答えなさい。

ア 休み時間をとることによって、その前に詰め込まれた知識を忘れ、次の新しい知識を集中して学ぶことが出来るから。

イ たて続けに学ぶことは、限られた時間の中で効率的な学び方であり、限られた時間の中ではもっとも時間の使い方にかなっているから。

ウ 学びたい内容に優先順位をつけることで集中力が増し、多くの知識を吸収できるようになるから。

エ 忙しければ忙しいほど焦りが生じるが、焦りが知識の吸収のスピードを加速させ定着させていくようになるから。

問十二 — 部⑪ 「汗を流した後をどうするかを知らない」とあるが、どうするべきだと作者は述べているか。本文から十五字以内で探し、抜き出して答えなさい。ただし句読点を含む。

問十三 ――部⑬「時代遅れだと言ってよい」とあるが、この一文からわかる筆者の思いとしてもっともふさわしいものを選び記号で答えなさい。

ア スポーツと勉強は両立することができないと思ひ、努力をしない人に対して、チャレンジすることの勧め  
イ 集中力を高めるためには文武両道が当たり前であり、もてはやすることなどあつてはならないという怒り  
ウ 価値のあるスポーツを目指していても結果的にバタスポーツを追求することになつてゐることへの同情  
エ 机に向かつてゐることをかまふこと呼び表すほど、長時間学習が良いとされてゐたことへの批判

問十四 この本文を読み、小学生四人が感想を述べあつた。本文の内容と異なることを話してゐる生徒を次から  
選び記号で答えなさい。

生徒A 知識を増やすためには、長い時間かければよいと思つてゐたけれど、忘れることが増やすことになつて驚いたわ。

生徒B 脳は夜になると、自然に忘れる作用があると筆者は書いていたし、覚えつつも思ひ出せない理由がわかつたよ。

生徒C 運動した後に眠くなることが多いけれど、脳は勉強するにはとても良い状態になつてゐるなら積極的に勉強しないとね。

生徒D 知識を増やすことよりも、自分自身で考えてこそ、人間は価値があるということを忘れないでいきたいね。

二 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

日本の長い歴史の中で、短歌も徐々に形を変えてきました。日本で最も古い「和歌集」として知られているのは、『(1)』です。『(1)』は、五七五七七の短歌だけでなく、様々な形式の和歌が載っているのも特徴です。また、「読み人知らず」などの歌があることからわかる通り、庶民が詠んだと思われる歌も載せられており、当時の庶民の生活を知る手段としても、歴史的な価値のある書物です。ところが、平安時代に入ると、「和歌」は(2)文化の象徴のような趣に変わり、宮中で詠まれるようになっていきます。そして、鎌倉時代に入り、ふすまに飾る和歌として、藤原定家が百首選んだとされる、有名な『(3)』が生まれます。

次の歌は、この『(3)』に選ばれた歌です。

1 山里は 冬ぞさびしき まさりける 人目も草も 枯れぬと思へば

2 朝ぼらけ 有明の月と みるまでに 吉野の里に 降れる白雪

これらの歌は、(4)を詠んだ歌で、季節はともに冬です。1の歌は、「人の訪れも途絶え、草木も枯れてしまう」ので、「山里の冬の寂しさはよりいっそう募るものなのだなあ」という内容です。しかし、語順を入れ替える倒置法を使って「山里の冬の(5)」を強調しているところに、この歌の特徴が表れているといえるでしょう。一方、同じ冬の歌でも、2の歌は、あたり一面の美しい雪景色を詠んでいます。この歌は、結句を「白雪」という名詞で終わらせる体言止めを用いて、歌人が見た吉野の里の雪景色の(6)を強調しています。ここでは、⑦「みる」を「見間違える」という意味で使っています。したがって、「みるまでに」というのは「見間違えるほどに」という意味になります。夜明け方、起きて外をのぞいたときに見た吉野の里の雪景色は、この歌人にとって、どれほど輝かしく、きれいなものに映ったか……、歌人の感動がよく表れた歌と言える

でしょう。

現代では、「四万十に光の粒をまきながら川面をなでる風の手ひら」など、多くの歌を作り『サラダ記念日』で有名な俵万智さんらの歌人が活躍しているほか、全国で中高生を対象とした短歌の大会が開かれたり、新聞の投稿欄とうこうらんに短歌が載ったりなど、多くの人に親しまれています。

このように、「短歌」は、日本文学という歴史の中で脈々と受け継がれ、現代につながる文化として根付いています。

※ 朝ぼらけ … 朝、ほのぼのと明るくなるころ。夜明け方。

※ 有明の月 … 陰曆九月に、夜更よふけに上り、夜明けまで空に残っている月。

問一 『( 1 )』に当てはまる書物名としてもつともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 古事記      イ 日本書紀      ウ 万葉集      エ 竹取物語

問二 ( 2 ) に当てはまる語句としてもつともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 貴族      イ 武家      ウ 農民      エ 商人

問三 ( 3 ) に当てはまる書物名としてもっともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 古今和歌集      イ 新古今和歌集      ウ 小倉百人一首      エ おくのほそ道

問四 ( 4 ) に当てはまる言葉としてもっともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 眼前に掲げられた絵画      イ 夢の中の風景  
ウ 想像の景色      エ 眼前の景色

問五 ( 5 ) に当てはまる言葉を、1の和歌から四字で抜き出しなさい。

問六 ( 6 ) に当てはまる言葉としてもっともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 悲しさ      イ 美しさ      ウ 寂しさ      エ 優雅さ<sup>ゆうが</sup>

問七 — 部⑦『みる』を『見間違える』という意味で使っています」とありますが、ここでは、「白雪」を何と「見間違えた」のですか、2の和歌から四字で抜き出しなさい。



三 次の問いに答えなさい。

問一 次の□には同じ漢字が当てはまりますが、その漢字一字を答えなさい。

- 1 王□ ・ 後継□ ・ 二□択一  
2 □完 ・ 近□来 ・ 前代□聞

問二 次の文を読み、あとの問いに答えなさい。

中学に入学してからの彼の成長はめざましいものだった。希望する中学への入学を願い、必死に勉強して掴んだ合格だったから、そこで終わらせたくなかった。彼は自分に言い聞かせた、「これがスタートラインなんだぞ、ゴールじゃない」と。経験はなかったが、柔道部に入部し、毎日真剣に練習をした。しかし、なかなか結果は出ない。試合会場に入ると、緊張が高まり、①いつものように身体が動かない。憧れの先輩の緊迫した試合を(2)をのんで見守る。そして、周りの部員が試合で勝つ姿を見ては、悔しさをかみしめながら練習に励んだ。努力は、自分が諦めない限り、きつと報われる、(4)と自分に言い聞かせた。今、卒業の時を迎え、あのとときの悔しい気持ちを思い出す。今では、試合でもある程度の結果を残すことができるようになった。⑤苦しいからと言って逃げては、何も実らない。勉強だって同じだ。苦手な科目もあるけれど、それでも、日々、小さな努力を積み重ねることで克服できることを、身をもって知った。彼は今日、壇上で告げた、「卒業という晴れの日、入学式で校長先生が⑥言った『皆さんがここにいるのは偶然ではありません』という言葉を思い出します。仲間に関われ、努力した日々には間違いはありませんでした。この三年間を支えてくださった全ての方に感謝しています」と。

1 — 部①「いつものように」が説明する（修飾する）言葉はどれですか、もっともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 試合会場に    イ 入ると    ウ 緊張が    エ 身体が    オ 動かない

2 (2)・(4) に当てはまる言葉としてもっともふさわしいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

(2)

- ア 水    イ 固唾（かたず）

ウ 爪の垢（つめのあか）    エ 煮え湯（にえゆ）

(4)

ア 旅は道連れ、世は情け    イ 日暮れて道遠し

ウ 蛇の道は蛇    エ 千里の道も一歩から

3 — 部③「報われる」に対応する主語は何ですか、もっともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 努力は    イ 自分が    ウ 限り    エ きつと

4 —部⑤「苦しい」と同じ性質の(同じ働きをする)言葉としてもっともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア なかなか    イ よろこび    ウ 悔しい    エ 小さな    オ ある

5 —部⑥「言った」を、文の流れに合わせて、適切な敬語表現に直しなさい。

**四** 次の——部の漢字の読みを答えなさい。

- 1 その都度、注意をする。
- 2 美しい織をなす反物を買う。
- 3 安否を確認する。
- 4 典型的な天気図だ。
- 5 学力が著しく伸びる。

五

次の――部のカタカナを漢字に直しなさい。

- 1 海外の工場をシサツする。
- 2 日々、真剣に努力し続けることはヨウイではない。
- 3 新しいことをココロみる。
- 4 リンジ列車が走る。
- 5 ムシャ震いがする。



